

スカウトちば

SCOUT CHIBA

「スカウトちば」は、日本ボーイスカウト千葉県連盟の広報誌です。

Vol.98

2021年6月1日発行

CONTENTS

ジャンボリー・オン・ジ・エア (JOTA)

ジャンボリー・オン・ジ・インターネット (JOTI) 2020

講話会

スカウトフォーラム

ワクワク自然体験あそび

全国防災キャラバン 動画撮影



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

写真提供: ボーイスカウト日本連盟



ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA) ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI) 2020

アマチュア無線やインターネットを利用して、世界のスカウト仲間と交流するJOTA-JOTIは、毎年10月に開催されます。千葉県連盟では10月17日、18日の2日間千葉市中央コミュニティセンターを主会場に開催しました。また、団・隊のプログラムとして各地においても開催されました。



印旛地区 佐倉第3団 カブスカウト隊

一組 ● 相川 ゆうと

無線やトランシーバー、インターネットを使って遠いところでも話せるということがわかりました。

二組 ● 飯高 けいご

無線機の音が少し苦手だったけど、楽しかったです。

上総地区 市原第6団 カブスカウト隊

小熊 悠太

スカイプでの交流は緊張した。遠く離れた人の話がきけてよかった。写真や動画が見られて楽しかった。

山川 茉央

緊張した。今度は外国の人と話してみたいと思った。

笹木 大夢

スカイプの交流では、画面に映るのが恥ずかしくて、逃げてしまいました。世界スカウトジャンボリーは楽しそうだった。今度はいろいろな人と交流したいです。

デンリーダー ● 山川 めぐみ

スカイプで交流したローバースカウトは、急な質問にも答えていただき、我が子もこのようなしっかりとした受け答えができる人になってもらいたいと思いました。

保護者 ● 小熊 知絵

先輩スカウトのお話を聞き、活動を知ることによって 未来の子どもたちの姿を想像することができました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

講話会

スカウト運動では加盟員が信仰をもつことを奨励しており、その一助として毎年、各地区で講話会が開催されています。千葉県連盟では僧侶、神職、牧師など19人の聖職者の方々に教導職をお願いし、講話会等でご指導いただいています。

さる10月25日に我孫子市の東陽寺（真言宗豊山派）で、11月1日には市原市の永徳寺（曹洞宗）で講話会がそれぞれ開催され、多くのスカウト、指導者をご住職のお話を伺った後、写経や座禅を体験しました。

千葉地区 千葉第6団 ● ボーイスカウト隊

西山 大洋

講話会に参加して「幸せとは何か」を考えるきっかけになりました。苦しい時に自分一人で答えを見つけることは難しいですが、仏教はその答えを教えてくださいました。正しいこととは何かを考え、正しい行いをする事です。これはおきてにもあるように、誠実であり、友情にあつく、礼儀正しく、親切であり、快活であり、質素であり、勇敢であり、感謝の心を持つことが、自分自身と他人の幸せにもつながると思います。



東葛地区 我孫子第1団 ● ボーイスカウト隊

小林 峻也

講話会に参加し、とても貴重な体験ができたと思います。特に初めての写経は、精神や心の安定など様々な意味がある事を教えていただいてから始めると、一文字一文字心を込めて写す事が出来、心が落ち着いていく気がしました。

上総地区 市原第7団 ● ボーイスカウト隊

岩月 隆乃介

ご住職から貴重な話を頂いたり、座禅や、写経などの他の人なら経験することの無いような、貴重な体験をすることが出来ました。この経験を生かし、ボーイスカウトの一員として、立派な大人になれるように頑張ります。

ワクワク自然体験あそび

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、子どもたちの感じている不安や閉塞感を打破し、元気を取り戻して、健やかな成長を図ることを目的に、文部科学省が自然体験活動を提供する事業です。公益財団法人ボーイスカウト日本連盟はこの事業を受託し全国で展開し、千葉県連盟でも各団の協力を得て32事業を実施しました。(72事業を計画しましたがコロナ感染防止の自粛により一部を中止しました)この事業の体験を通じてスカウトの仲間になった方の感想を伺いました。



東葛地区 我孫子第2団

スカウト ● 小学3年男子

『ワクワク自然遊び』に参加したきっかけは何ですか？

お母さん：子供が学校でチラシをもらい、『これ行きたい』と言ってきました。元々、外遊びや工作は好きなので、楽しみだったようです。

本人：チラシも楽しそうな雰囲気だったしね。

お母さん：当日参加するまでは、ボーイスカウトって、ロープとか募金活動というイメージが強かったですね。以前、他の団が開催していたモンキーブリッジが楽しかったようですが、その時は入団には至りませんでした。身近な機会がないと入団のきっかけがありませんね。

入団の決め手は何でしたか？

本人：イベントに参加してすごく楽しかったので、入りたいと思った。

お母さん：入団の決め手はやっぱり子供が楽しそうだったことですね。本人の興味のある方向性と合っていたのもあります。ボーイスカウトでは全員が主人公として参加するのもいいですね。

今後の活動に対する期待は？

お母さん：遊びと隊集会のセレモニーのようなきちんとした場面の切り替えが出来る、メリハリ付けた行動が身に付けばと思っています。今後ともよろしく願います。

船橋地区 船橋第14団

スカウト保護者 ● 小学3年

ワクワク自然体験あそびに参加して

小学3年生と年長の子供と3人で参加させていただきました。

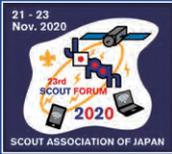
まず、集合場所の公園内で歩測を体験しました。子ども達は常に道具を使う生活をしているので、自分の一歩が物差しになることに驚いていました。

それからキャンプ場へ向かいました。途中で坪井地区の歴史や、現在も多く残っている石塔などの意味などを教えていただきました。何度か通ったことのある道だったので、「坪井にはたくさん神様がいるんだね。」と子供達は興味深く話に耳を傾けていました。

キャンプ場では、ボーイスカウトの方や同じ年頃のカブスカウトの方たちが作ったアスレチックやテントをみて「自分たちでこんな風につくれるの?!」と大興奮し、普段は嫌がるターザンロープにも勇気を出して挑戦したり、自然遊びを満喫していました。

普段できないことを体験し、いろいろな話を聞くことができ、親子で楽しい時間を過ごすことができました。





スカウトフォーラム

スカウトフォーラムは、スカウト運動に青少年の意見を反映させることを目的に、高校生年代のベンチャースカウト一人ひとりが自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会が提供されるように開催されます。

今年度は、「私たちにできる社会貢献とは」をテーマに、隊⇒地区⇒県連盟⇒全国の各フォーラムで活発に討議され、成果を採択文やフォーラム宣言として取りまとめました。採択文や宣言は、県連盟に持ち帰り「アフターフォーラム」として話し合い、実践に向けて具現化を図ります。

コロナ禍でWEBでの開催となった千葉県連盟アフターフォーラムは、大学生年代のローバースカウトたちの支援によって進められました。取りまとめられたアクションプランは、地区・隊にフィードバックして、どのように社会に貢献できるか、社会と協働できるかを話し合い具現化して実践していきます。



アフターフォーラムへの参加も

東葛地区 柏第9団

神山 航

今回のフォーラムテーマは『私たちにできる社会貢献とは』でした。フォーラムでは午前中に毎日新聞社政治部記者の木下訓明さんから基調講演をいただきました。

木下さん自身の経験談を、スケッチブックなどを用いて我々にわかりやすくお話して下さいました。

その後、グループ分けを行い地区フォーラムの内容を参考にして班ごとにテーマを決め討議し、全体で取りまとめを行いました。

自分はプラスチックによる環境汚染などに興味があり、自分が行っていることや意見を多くの人に聞いてもらったり、他の人の意見などを聞くことができたのでとてもいい経験になりました。

アフターフォーラムは、残念ながらオンラインでの開催となってしまいましたが、全国スカウトフォーラムでの「フォーラム宣言」を基に討議していき、具体的な活動案を話し合いました。各今後地区、各隊は、宣言を基にアフターフォーラムの展開をし、アクションプランに取り組んで欲しいと思います。

県連盟スカウトフォーラムに参加して

南総地区 君津第2団

秋葉 いくみ

最初の基調講演では、講師自身がスカウトだった時に起こった阪神・淡路大震災について、私たちが知らなかった現地の現状、現地の方々の考えなどを聞くことができ、テーマの《私たちにできる社会貢献》を改めて考える機会になりました。

グループワークでは、ゴミの分別・募金・レモネードスタンド・自然災害の4つのテーマに分かれ、その結果をポスターセッションで発表しましたが、どの班のグループ討議成果も興味深いものでした。

全体会議では、議長団の書記を務めさせていただきましたが、それぞれ活発な議論により、参加者はたくさんのかを感じて成長することが出来たと思います。

県フォーラムは、参加したスカウトはもちろん、県ローバースや県連盟の方々、そして講演くださった木下様のおかげで心に残るものとなりました。皆さんもぜひ参加してみてくださいね。

全国スカウトフォーラムを終えて

東葛地区 我孫子第1団

東儀 隆範

今回の全国スカウトフォーラムに参加するにあたって、議長としてこの大会をスムーズに行進できるようにすることを目標として参加しました。

初日と2日目午前は、5人程度の班に分かれて各班で討議を行いました。オンラインでの開催で意見が出にくい状況はありましたが、班でフォーラム宣言の素案をまとめることができました。

議長団は、各班から1人代表を出し、その中から議長を1人選出することになり、代表8人の中から4人立候補し、私が議長になることができました。

まず議長団だけで各班の素案を確認し、そこから1つの素案にまとめました。全員意見をしっかり出してきて、まとめるのが大変な部分もありました。別の視点から意見を出してくれたり、ファシリテーターの人がうなずいてくれたりして助けられた部分もありました。最終的に2つの案を全体会で聞くことになりました。

全体会では、おおきな変更はなかったが、細かい言い回しのところで引き際があまりよくわからず、少し時間を取りすぎてしまいましたが、しっかりとフォーラム宣言を採択で来たので良かったと思います。

今回、この全国スカウトフォーラムは対面ではなくオンラインでの開催でしたが、心配していたよりしっかりとした討議を行うことができよかったです。ただ問いかけたときなど、対面ではあったであろう、うなずきなどの反応が薄かったため、討議を進める側としては少しやりづらい部分がありました。でも全員が納得できる宣言を採択できて安心しました。これをもとに今後の活動につなげていきたいと強く感じました。

最後になりますが、当日までの準備運営をしてくださった多くの方に感謝したいと思います。



ファシリテーター奉仕を行って

千葉県ローバース会議 議長

岩井田 慧美

私たち千葉県ローバース会議（CRC）は、令和2年10月11日開催の「千葉県連盟スカウトフォーラム」（場所：船橋市視聴覚センター）、および令和3年1月11日開催の「千葉県連盟アフターフォーラム」（オンライン実施）の両事業に対して、当日運営の奉仕支援にあたりました。また、奉仕したローバースカウトはCRCメンバーに限らず、県内からの参加者数名と協同で活動を行いました。

奉仕内容は当日の司会進行に加え、ベンチャースカウトによるグループ討議のファシリテーターを務めました。ファシリテーターの具体的な役割としては、ベンチャースカウトがグループ内で円滑に意見を出し合えるよう、適度に進行補助や助言を行います。その際に、「意見がある人」ではなく、討議に参加するベンチャースカウト全員へ意見を求めることを意識していたため、結果として主体的な討議を引き出すことができたのではないかと評価しています。

私たちは今後、ファシリテーターをはじめ今回の活動で得た経験や発見を所属するコミュニティに還元していきます。

アフターフォーラムZoom画面



全国防災キャラバン動画撮影

船橋地区 白井第1団 ● ローバースカウト隊

中山 堯登

全国防災キャラバンは、ボーイスカウトとイオンモール様が強力なタッグを組み、防災に関するスキルや知識を地域の方々に紹介する事業として2016年より開催されてきました。

しかし5年目となる今年度は新型コロナウイルス感染症のため、例年のように各店舗でお客様がいる中での実施は中止にせざるを得ませんでした。

そこで今年度は、防災ワークショップ動画を撮影しWEB上で公開するという形で実施しました。縁あってその動画には千葉県内のカブスカウトと共に、私を含むローバースカウトが出演させていただきました。

撮影当日は、感染防止対策を徹底しながら動画のパート毎にリハーサルと本番に臨みました。

コロナ禍でオンラインの活用が急速に進んでいる中で、自分たちの技能が動画を通して社会の役に立てたのなら嬉しい限りです。また、プロのカメラマンや音響照明の方々とお仕事(活動)をするのは当然ながら初めてで、私にとって貴重な経験となりました。

「Scouting Never Stop!」とはいいますが、できることをできる形でやっていくことが今の時代には求められていると感じています。

これからも歩みを止めないために、歩み方を考えてスカウト活動をしていこうと思います。



※私たちが出演した全8本の動画は、下記のURLよりご覧ください。
<https://online-event.aeonmall.com/manabu/>



進級章取得状況報告 (令和2年度)

富士スカウト章

- ① 高橋 あすか 佐倉第4団
- ② 竹内 佳奈 船橋第3団

隼スカウト章

- ① 土田 明日香 千葉第18団
- ② 高橋 児太郎 佐倉第4団
- ③ 味村 勇太 千葉第21団
- ④ 東儀 隆範 我孫子第1団

菊スカウト章

- ① 井関 晃大 千葉第13団
- ② 山田 佳樹 千葉第27団
- ③ 安藤 優汰 千葉第27団
- ④ 石田 大樹 香取第1団
- ⑤ 石橋 祐弥 千葉第1団
- ⑥ 村上 のの子 千葉第1団
- ⑦ 江澤 蒼恋 千葉第6団
- ⑧ 加藤 那由多 流山第3団
- ⑨ 佐藤 想蘭 流山第3団
- ⑩ 深澤 瑞希 松戸第8団
- ⑪ 皆川 真宏 鎌ヶ谷第1団
- ⑫ 細川 顕吾 流山第5団
- ⑬ 小林 樹 流山第5団
- ⑭ 小倉 琉希 千葉第15団

編集後記

スカウトちば98号をお届け致します。
今号においては新型コロナウイルスの第三波の到来などによる行事の中止や予定変更などで当初予定からの記事を差し替える事となるなりお待たせを致しました。
今後も今しばらくの間は多くの予定変更など予断を許さない

状況ではございますが、引き続き楽しく為になる紙面を目指して参ります。
次号は分散開催となった第21回千葉県カブラリー、ローバースカウトの活動状況などの記事を予定しております。
引き続きのご愛読をよろしくお願い致します。

広報関連スタッフ募集中

運動拡充委員会では、「スカウトちば」やホームページなどの広報を充実させるため下記のスタッフを募集しています。下記のスキルに該当する方々で、自薦、他薦を問いません。

応募条件

ローバースカウト、成人指導者で以下に該当する方

- ① 写真、映像撮影、編集が出来る方
- ② イラストレーター、記事編集が出来る方
- ③ ネット発信・拡散などが出来る方
- ④ Webのデザインなどが出来る方

詳しくは下記を参照下さい。

http://www.scout-chiba.jp/member/movement_expansion/3774/



【発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟

〒260-0001 千葉市中央区都町2-1-12 千葉県都町合同庁舎4階

TEL.043-235-8070

運動拡充委員会 編集責任 山本 勲

詳細は、日本ボーイスカウト千葉県連盟ホームページをご覧ください <http://www.scout-chiba.jp>



県連盟公式フェイスブックファンページ開設

県連盟では、県連盟、地区や団の活動報告を行うためにフェイスブックのファンページを開設しました。団や隊で発信したい場合は、ファンページのメッセージからお知らせ下さい。

<https://www.facebook.com/scoutchiba/>



お問合せは